

使っている花 ■ 石化ケイトウ(パオパオ、アンティークオレンジ)、ママ(パラドフダーク)、グレビリア(アイバンホー)、アメリカテマリシモツケ(ディアポロ)、オモチャカボチャ



ケイトウ

花言葉 おしゃれ／気取り

深まりゆく秋の景色を映すように
ピロードのグラデーションに魅せられて

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 黒っぽく変色したカビに気をつけて選びましょう。
- 葉が変色してきたら早めに取り除きましょう。
- 日持ちの良い花ですが、切り花栄養剤でさらに長く楽しめます

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①濃淡の色がグラデーションするケイトウと同系色のママを選びます。花材の水に浸かる部分の葉をあらかじめ取り除きます。
- ②高さが違う器を並べ、ケイトウとママをそれぞれ2〜3本ずつつけます。ケイトウは花の頭が重たいので、茎の長さは器の高さと同じくらいにして安定させます。器の口元に美しい色合いが集まるようにしましょう。
- ③最後に、シックな銅色のディアポロを添え、グレビリアの葉を長めにあしらいます。2つの器を並べて、ボリューム感のバランスを取るとよいでしょう。まわりにオモチャカボチャを転がせば、ハロウィンシーズンにぴったりのコーディネートに!

ウールのセーターが恋しい季節

熱帯アジア原産。中国を経てもたらされ「韓藍(カラアイ)」の名で万葉集にも登場する花。種類が豊富で様々な花姿のケイトウがありますが、生産者が独自に種を選抜した石化ケイトウが人気。ピロード調の質感と美しいニュアンスカラーが魅力です。最近では染めたものも出回りドライフラワーの素材としても人気再燃。



WEEKEND
FLOWER



ケイトウ

花言葉 おしゃれ／気取り

深まりゆく秋の景色を映すように
ピロードのグラデーションに魅せられて

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 黒っぽく変色したカビに気をつけて選びましょう。
- 葉が変色してきたら早めに取り除きましょう。
- 日持ちの良い花ですが、切り花栄養剤でさらに長く楽しめます

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①濃淡の色がグラデーションするケイトウと同系色のママを選びます。花材の水に浸かる部分の葉をあらかじめ取り除きます。
- ②高さが違う器を並べ、ケイトウとママをそれぞれ2〜3本ずつつけます。ケイトウは花の頭が重たいので、茎の長さは器の高さと同じくらいにして安定させます。器の口元に美しい色合いが集まるようにしましょう。
- ③最後に、シックな銅色のディアポロを添え、グレビリアの葉を長めにあしらいます。2つの器を並べて、ボリューム感のバランスを取るとよいでしょう。まわりにオモチャカボチャを転がせば、ハロウィンシーズンにぴったりのコーディネートに!

ウールのセーターが恋しい季節

熱帯アジア原産。中国を経てもたらされ「韓藍(カラアイ)」の名で万葉集にも登場する花。種類が豊富で様々な花姿のケイトウがありますが、生産者が独自に種を選抜した石化ケイトウが人気。ピロード調の質感と美しいニュアンスカラーが魅力です。最近では染めたものも出回りドライフラワーの素材としても人気再燃。



WEEKEND
FLOWER



使っている花 ■ 石化ケイトウ(パオパオ、アンティークオレンジ)、ママ(パラドフダーク)、グレビリア(アイバンホー)、アメリカテマリシモツケ(ディアポロ)、オモチャカボチャ



使っている花 ■ 石化ケイトウ(パオパオ、アンティークオレンジ)、ママ(パラドフダーク)、グレビリア(アイバンホー)、アメリカテマリシモツケ(ディアポロ)、オモチャカボチャ



ケイトウ

花言葉 おしゃれ／気取り

深まりゆく秋の景色を映すように
ピロードのグラデーションに魅せられて

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 黒っぽく変色したカビに気をつけて選びましょう。
- 葉が変色してきたら早めに取り除きましょう。
- 日持ちの良い花ですが、切り花栄養剤でさらに長く楽しめます

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①濃淡の色がグラデーションするケイトウと同系色のママを選びます。花材の水に浸かる部分の葉をあらかじめ取り除きます。
- ②高さが違う器を並べ、ケイトウとママをそれぞれ2〜3本ずつつけます。ケイトウは花の頭が重たいので、茎の長さは器の高さと同じくらいにして安定させます。器の口元に美しい色合いが集まるようにしましょう。
- ③最後に、シックな銅色のディアポロを添え、グレビリアの葉を長めにあしらいます。2つの器を並べて、ボリューム感のバランスを取るとよいでしょう。まわりにオモチャカボチャを転がせば、ハロウィンシーズンにぴったりのコーディネートに!

ウールのセーターが恋しい季節

熱帯アジア原産。中国を経てもたらされ「韓藍(カラアイ)」の名で万葉集にも登場する花。種類が豊富で様々な花姿のケイトウがありますが、生産者が独自に種を選抜した石化ケイトウが人気。ピロード調の質感と美しいニュアンスカラーが魅力です。最近では染めたものも出回りドライフラワーの素材としても人気再燃。



WEEKEND
FLOWER



ケイトウ

花言葉 おしゃれ／気取り

深まりゆく秋の景色を映すように
ピロードのグラデーションに魅せられて

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 黒っぽく変色したカビに気をつけて選びましょう。
- 葉が変色してきたら早めに取り除きましょう。
- 日持ちの良い花ですが、切り花栄養剤でさらに長く楽しめます

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①濃淡の色がグラデーションするケイトウと同系色のママを選びます。花材の水に浸かる部分の葉をあらかじめ取り除きます。
- ②高さが違う器を並べ、ケイトウとママをそれぞれ2〜3本ずつつけます。ケイトウは花の頭が重たいので、茎の長さは器の高さと同じくらいにして安定させます。器の口元に美しい色合いが集まるようにしましょう。
- ③最後に、シックな銅色のディアポロを添え、グレビリアの葉を長めにあしらいます。2つの器を並べて、ボリューム感のバランスを取るとよいでしょう。まわりにオモチャカボチャを転がせば、ハロウィンシーズンにぴったりのコーディネートに!

ウールのセーターが恋しい季節

熱帯アジア原産。中国を経てもたらされ「韓藍(カラアイ)」の名で万葉集にも登場する花。種類が豊富で様々な花姿のケイトウがありますが、生産者が独自に種を選抜した石化ケイトウが人気。ピロード調の質感と美しいニュアンスカラーが魅力です。最近では染めたものも出回りドライフラワーの素材としても人気再燃。



WEEKEND
FLOWER



使っている花 ■ 石化ケイトウ(パオパオ、アンティークオレンジ)、ママ(パラドフダーク)、グレビリア(アイバンホー)、アメリカテマリシモツケ(ディアポロ)、オモチャカボチャ

